

| | | | | |
|-----|--------|-------|--------|-------|
| 単位数 | 必履修・選択 | レポート数 | 出席義務時数 | テスト回数 |
| 4 | 必履修 | 12 | 4 | 2 |

| | |
|---------------|--------------------|
| 教科書 | 学習書・他教材 |
| 新編 国語総合（東京書籍） | 新編 国語総合 学習書（NHK出版） |

| 学 習 目 標 | |
|--|--|
| 国語に親しみ、言語文化に対する関心を深め、思考力や想像力、伝え合う力を育む。 ・現代文のさまざまな文章を読み、筆者の主張を読み取り表現の工夫を学ぶなどして理解を深めていく。 ・古文を読みながら、古語のきまりや時代背景などを広く学び、伝統的な国語文化についての考えを深める。 ・漢文を読みながら、漢文のきまりや漢語について広く学び、漢文特有の表現や話の面白さを味わう。 | |

| 学 習 計 画 | | |
|-------------|---|------|
| 学 習 項 目 | 学 習 内 容 | 試験範囲 |
| 1. 随想を読む | ○現代文「ルリボシカミキリの青」を読んで筆者の伝えたい思いをつかみ、想像力や思考力を養う。 | 前期試験 |
| 2. 古典入門 | ○古文の基礎を学びながら、「児のそら寝」を読んで説話の面白さを味わい、古文に親しむ態度を養う。 | |
| 3. 漢文に親しむ | ○漢文の基礎を学びながら、故事（「守株」「借虎威」「五十歩百歩」）を読んで故事成句に対する関心を深め、漢文に親しむ態度を養う。 | |
| 4. 評論を読む（1） | ○現代文「無彩の色」を読んで筆者の考え方や日本文化について学び、思考力や論理性を養う。 | |
| 5. 随筆を読む | ○古文「うつくしきもの」を読んで古人のものの見方や感じ方を学び、随筆の面白さを味わう。 | |
| 6. 詩の世界／唐詩 | ○現代詩を読んで表現技法を学び、詩の世界を味わう。 ○漢詩のきまりを学び、唐詩の世界を味わう。 | |
| 7. 小説を読む（1） | ○現代文「羅生門」を読んで小説の世界を味わい、人間の心理について考えを深める。 | 後期試験 |
| 8. 小説を読む（2） | ○現代文「羅生門」を読んで小説の世界を味わい、人間の心理について考えを深める。 | |
| 9. 詩歌を味わう | ○「折々のうた」に挙げられた万葉集・古今和歌集・新古今和歌集の秀歌を読んで、表現技法や伝統的な古人のものの感じ方を学ぶ。 | |
| 10. 論語のことば | ○論語を読み、孔子の思想にふれ、人間のあり方・生き方について考えを深める。 | |
| 11. 物語の世界 | ○古文「筒井筒」を読んで、古人の考え方や当時の風習を学び、物語と和歌の世界を味わう。 | |
| 12. 評論を読む | ○現代文「美しさの発見」を読んで筆者の主張を正しくつかみ、論理性や自己をみつめる態度を養う。 | |

| 評 価 規 準 と 評 価 方 法 | | | | |
|---|------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 評価は、次の観点から行います。 | | | | |
| ①関心・意欲・態度 | ②話す・聞く能力 | ③書く能力 | ④読む能力 | ⑤知識・理解 |
| 国語への関心を持ち、課題に意欲的に取り組んでいる。 | 目的や場に応じて効果的に話し、聞く態度を身につけている。 | 目的に応じてさまざまな文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | 文章を的確に読み取り、正しく理解して考えを深め、発展させている。 | 伝統的な言語文化や文法などを理解し基礎的な知識が身につけている。 |
| 上記の観点を踏まえ、提出されたレポートと前・後期の定期試験の成績をもとに総合的に評価します。提出期限に遅れると評価が大きく下がりますので注意してください。 | | | | |

| 授業の進め方、課題・提出物など |
|--|
| ・「国語総合」の面接授業は、報告課題の内容に沿って、補助プリントを配布しながら単元を深めています。なるべく多く参加し報告課題の取り組みの一助としてください。質問も随時受け付けています。 ・報告課題の取り組みにあたっては、学習書以外にも国語辞典・古語辞典などを積極的に利用して、語彙力を向上させるように心がけてください。 ・報告課題は、 <u>各回ごとの提出期限をしっかりと守ることが何より重要です</u> 。しっかりと計画を立て、確実な学習習慣を身につけましょう。 |

| 担 当 者 か ら |
|---|
| 「国語総合」は、現代文・古文・漢文のいずれの分野も、 <u>まず教科書本文を読むことが学習の前提です</u> 。教科書を読んでから学習書の解説を読む、という順序を必ず守ってください。面接指導を受ける前には、必ず教科書を読んで臨んでください。ていねいな学習の積み重ねをとおして、確かな国語力を身につけていきましょう。国語はすべての教科の基本となります。 |